

# 令和6年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

区 名 住吉区

学 校 名 長居小学校

学校長名 長谷川 光洋

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和6年4月18日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

## 1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 2 調査内容

### (1) 教科に関する調査

- ・ 国語
- ・ 算数

### (2) 質問調査

- ・ 児童に対する調査
- ・ 学校に対する調査

## 3 調査の対象

- ・ 国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・ 長居小学校では、第6学年112名

## 令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

平均正答率は、2教科とも全国平均、大阪市平均を上回っている。全国平均と比較すると、国語科は2.6ポイント、算数科は2.3ポイント高かった。

無回答率は、2教科とも全国平均、大阪市平均を下回っている。全国平均と比較すると、国語科は2.5ポイント、算数科は1.7ポイント低かった。

語彙力・言語能力の向上を中心に、落ち着いた学習環境のもとで学習に取り組んできた成果が見られた。

## 分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕

「A話すこと・聞くこと」において、正答率が全国平均より5.2ポイント低い結果となった。課題として、児童が目的や意図に応じて伝え合う内容を十分に検討できていないことが挙げられる。それ以外の区分については、正答率が全国平均よりも高く、おおむね習得できているといえる。

〔算数〕

すべての区分で正答率が全国平均より高く、おおむね習得できているといえる。今後、様々な学習活動の中で、「話す・聞く」といった対話的な活動を積極的に取り入れていきたい。

質問調査より

過年度、全国平均を下回っていた「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」「自分には、よいところがあると思いますか」については、肯定的な回答の割合がそれぞれ94.4ポイント、87.0ポイントとなり、全国平均を上回った。

例年、全国平均を上回っている「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」は95.4ポイントで、今年度も全国平均を超えている。

一方で、「将来の夢や目標を持っていますか」という質問に対する肯定的な回答の割合は75.0ポイントで、全国平均を7.4ポイント下回った。この点を改善するために、学習活動のさまざまな場面で、自分の将来について具体的にイメージできるようなアプローチを検討する必要がある。

## 今後の取組(アクションプラン)

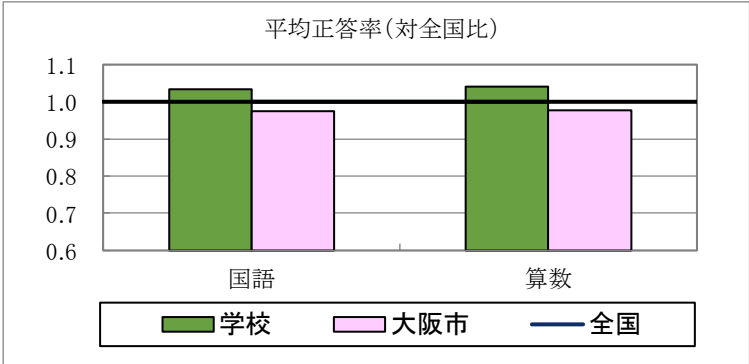
「話す・聞く」活動を多く取り入れた授業を進めるとともに、読み取った内容を要約する力や自分の考えを表現する力を高めていく。また、学習効果を上げるために、ICTを活用し、図書室の環境も引き続き整備していく。

児童を認める評価や声かけを通して自尊心を育むとともに、安全で安心な学校を基盤に「学校が楽しい」「勉強が楽しい」と感じられる環境づくりを進めていく。児童の活動や学校行事の様子は、学校ホームページ等を通じて積極的に発信する。

【 全体の概要 】

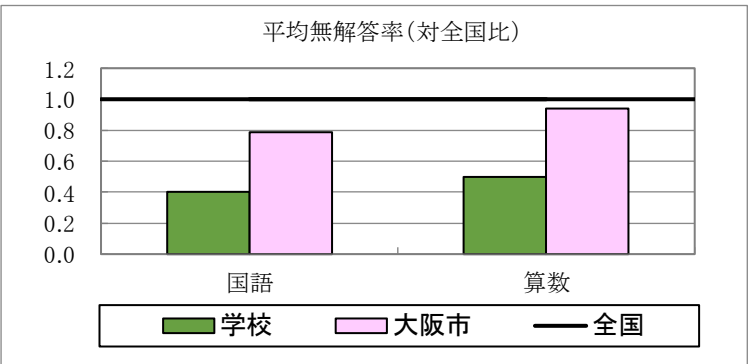
平均正答率（％）

	国語	算数
学校	70	66
大阪市	66	62
全国	67.7	63.4



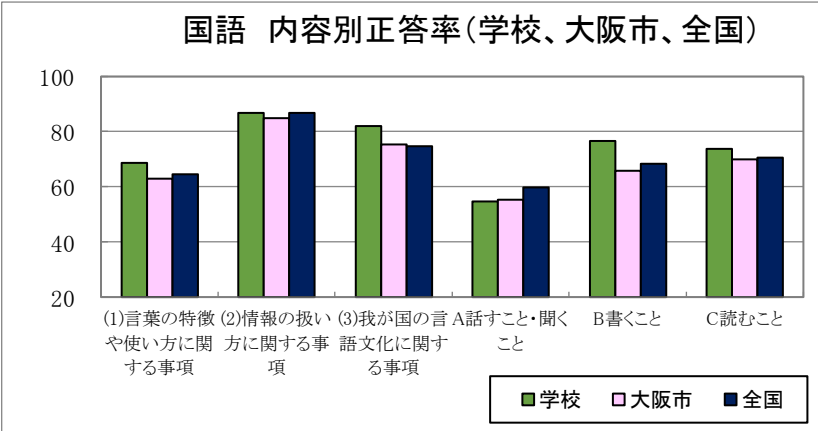
平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	1.7	1.7
大阪市	3.3	3.2
全国	4.2	3.4



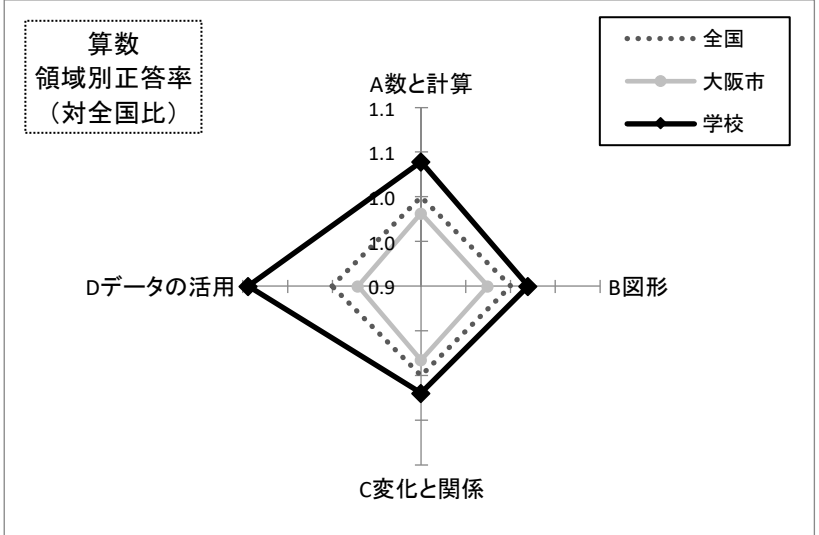
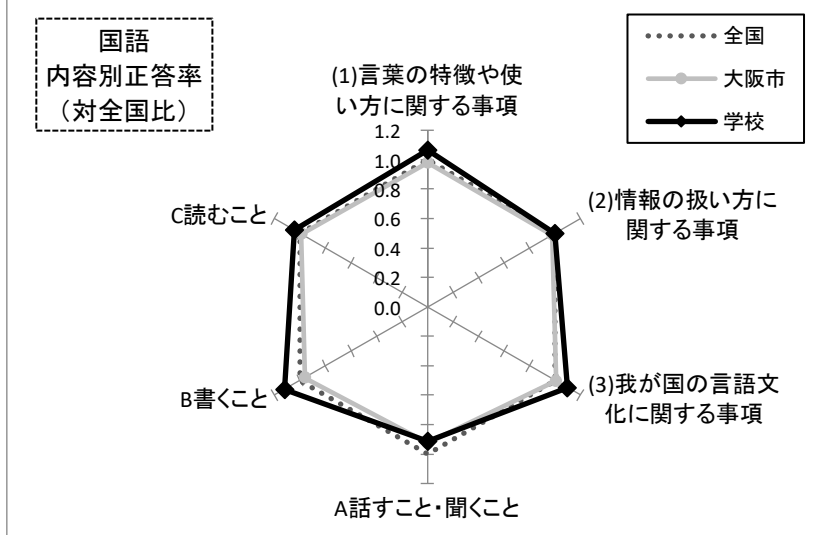
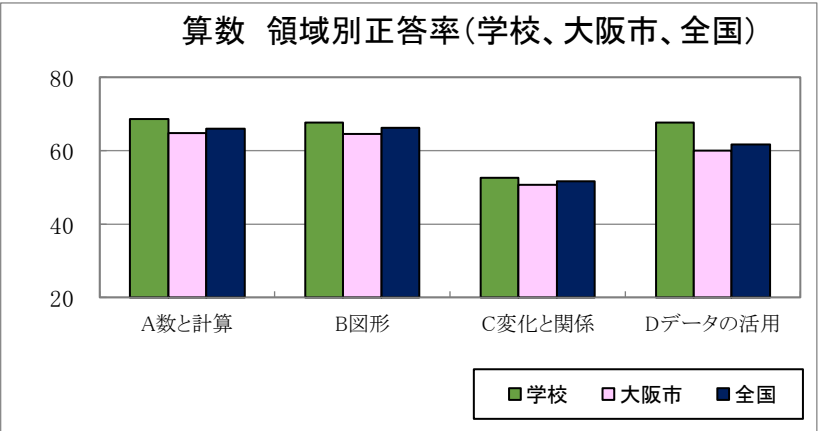
【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	4	68.6	63.1	64.4
(2)情報の扱い方に 関する事項	1	86.7	85.0	86.9
(3)我が国の言語文 化に関する事項	1	81.9	75.3	74.6
A 話すこと・聞くこと	3	54.6	55.3	59.8
B 書くこと	2	76.7	65.9	68.4
C 読むこと	3	73.7	70.1	70.7



【 算 数 】

学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	6	68.6	64.8	66.0
B 図形	4	67.6	64.6	66.3
C 測定	0			
C 変化と関係	3	52.7	50.8	51.7
D データの活用	4	67.6	60.0	61.8

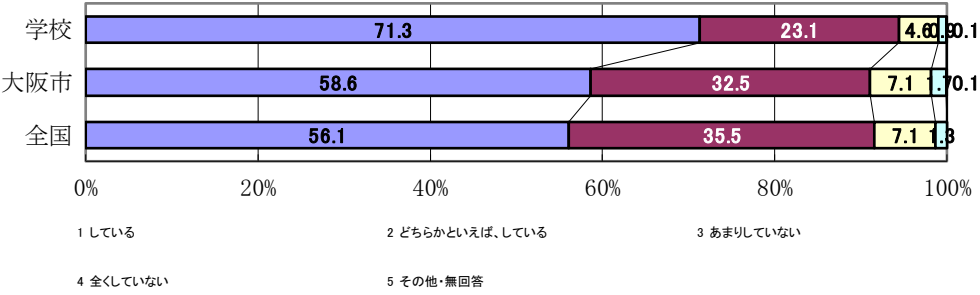


児童質問より

質問番号
質問事項

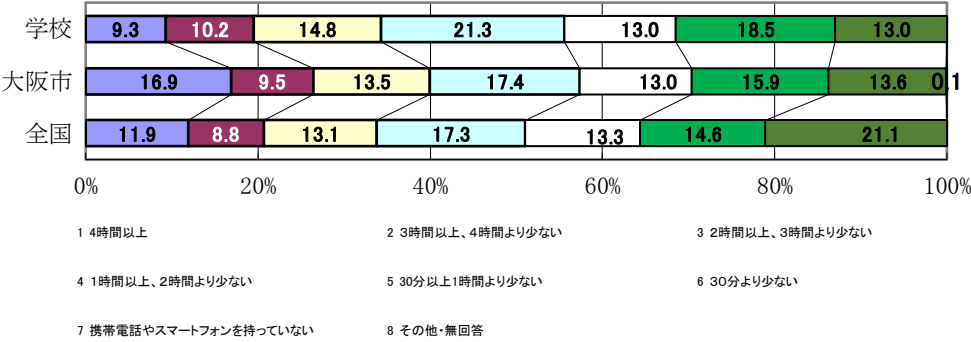
3

毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



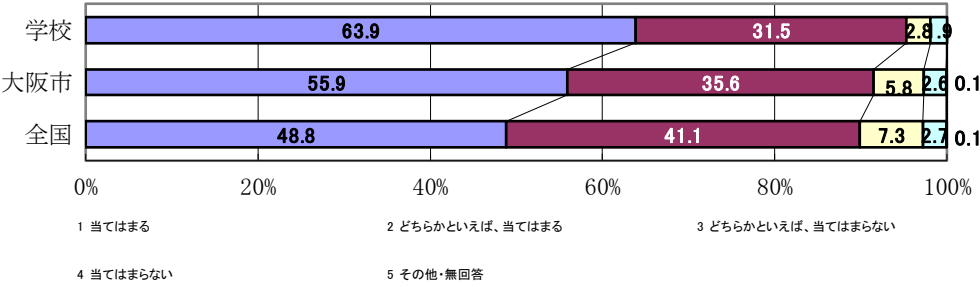
6

普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか（携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く）



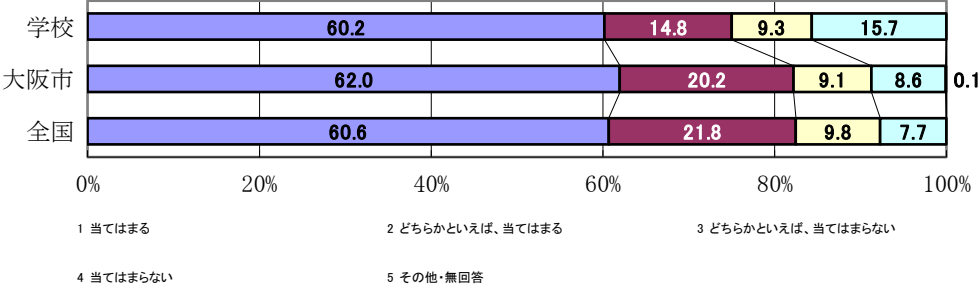
10

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



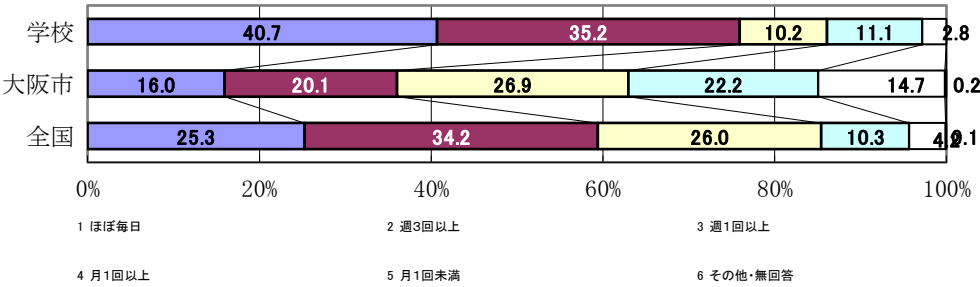
11

将来の夢や目標を持っていますか



27

5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか



学校質問より

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

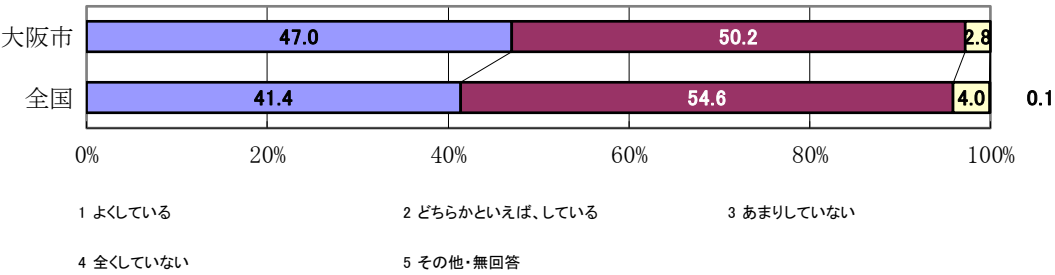
質問番号

質問事項

15

言語活動について、国語科を要としつつ、各教科等の特質に応じて、学校全体として取り組んでいますか

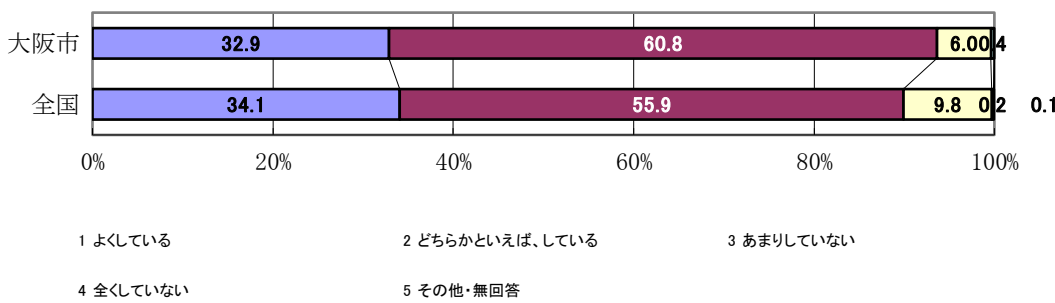
学校 「よくしている」を選択



17

児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか

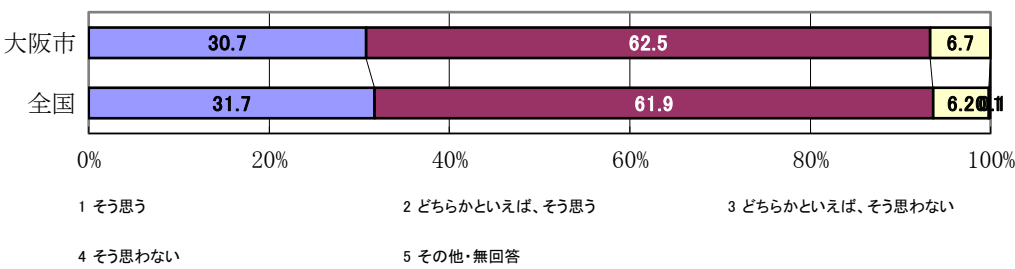
学校 「よくしている」を選択



28

調査対象学年の児童は、授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいると思いますか

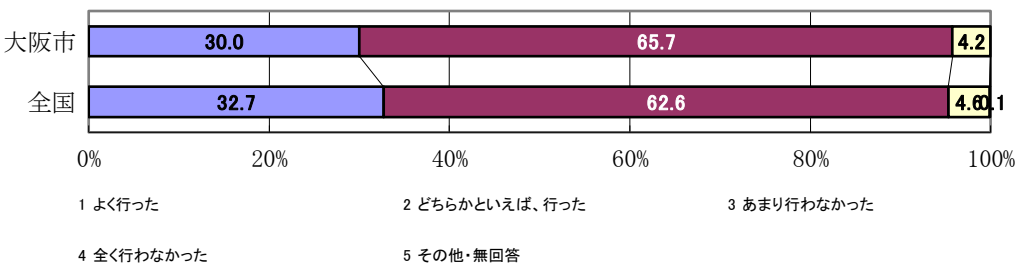
学校 「そう思う」を選択



49

調査対象学年の児童に対する理科の授業において、前年度までに、自然の事物・現象から問題を見いだすことができる指導を行いましたか

学校 「よく行った」を選択



72

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習について、児童が自分で学ぶ内容や学び方を決めるなど、工夫して取り組めるような活動を行いましたか

学校 「よく行った」を選択

